

堂 谷 津 の 里 か ら

堂谷津の里では、例年より約1か月遅れで植えた稲の苗（ヒメノモチ（もち米）：5月28日、いのちの粳（うるち米）：5月28日、6月4日、7日）が、順調に生育し、それぞれ8月1日～3日、8月13日に穂が出ました。谷津田を渡る風に揺れている青い穂は、約40日後、9月に成熟し、収穫時期を迎えます。また、昨年、飛翔が少なかったホタルは、今年はその数が回復し、7月30日に観賞会を開くことができました。「里山の結晶」ともいわれるホタルが多数生息するよう、今後も、里山の保全、再生を進めていきたいと思っています。

【田んぼでは】



7月開催の親子米づくり・自然体験教室では、家族ごとに田の草取りを行いました。



田植えの後は、湛水管理や補植、草取り作業が続きました。ヤマユリが疲れを癒してくれました。



ヒメノモチの穂が出揃い、9月の稲刈りに向けておだづくりも終わりました。



8月の親子米づくり・自然体験教室では、湧水探検と案山子づくりを行いました。力作が勢ぞろいし、堂谷津の田を見守ります。

【大賀ハスの田では】



4月に円形桶に植え替えた大賀ハスが、今年には3つの蕾をつけ、2輪開花しました。



【活動広場では】



3月に着工した井戸が完成しました。工事は、安齋朗教諭（当時松戸南高校）を中心に進められました。詳しくは改めて報告します。

報告

湧水と地層の現地研修会

8月8日に千葉県高等学校教育研究会の地学現地研修会が「堂谷津の里」で開かれました。研修内容は谷津の湧水と湧水メカニズムとしての地層の見学です。講師は県環境研究センターの風岡修氏、参加者は地学担当の教諭20名です。一行は千城台駅に集合後、千城台団地などで道路の状態と地層の関係などを学びながら、11時前に堂谷津の池に到着しました。ここで、小休止の時間を利用して、バランス21の活動や「堂谷津の里」の湧水利用の米づくりを紹介しました。その後、一行は池奥の湧水や露出した地層を観察して湧水のメカニズムについて学びました。今回のように「堂谷津の里」が学びの場として生かされるのは嬉しいことです。(K.S.)



<情報コーナー>

今年の稲刈りは、通常作業日9月13日（火）9時から、会員だけで、実施します。また、9月24日（予備日25日）には親子米づくり教室と千葉市科学館の稲刈りが行われます。多くの会員の皆さんの参加をお待ちしています。

NPO 法人バランス 21

E-mail :yatosatoyama@gmail.com

URL :<https://balance21.jimdo.com/>

連絡先：千葉市若葉区谷当町70

TEL & FAX:043-239-0645（現地）